



低地の林縁に多い。



葉脈の特に裏側が紅紫色。



果柄がもっと短ければ、イワガネ。

区別のポイント

葉は3脈が目立ち、裏面の葉脈と葉柄は紅紫色を帯びる。湿った林内や林縁で見られる。

形態 常緑低木。高さ4～5m。

分布 本州（伊豆半島・紀伊半島）・四国・九州・沖縄

名前の由来

葉 〈全体〉長楕円状披針形で長さ5～10cm、幅2～4cm。

〈付き方〉互生。

〈葉柄〉1～3cm、紅紫色。

〈基部〉くさび形。

〈葉先〉やや長く尖る。

〈縁〉粗い鋸歯。

備考 シカ嗜好植物だが日持ちしない。サルも好物。家畜飼料にもなる。

出典 1 2